

## 第2章 普及活動

### 1. 排出放射性物質影響調査研究情報発信活動

青森県からの委託業務「排出放射性物質影響調査」によって実施されてきた調査研究の内容や得られた成果等について、県民に直面で説明する成果報告会と出前説明会を実施するとともに、インターネットやパンフレット等の媒体を用いて情報発信した。

#### 1.1 成果報告会

成果報告会では、令和元年度に終了した陸圏蓄積評価調査の調査内容及び結果について「放射性物質は土壌に蓄積されるのか？ ～放射性炭素やトリチウムの土壌中への移行～」と題して、また低線量率放射線に対する生理応答影響実験調査の調査内容及び結果について「色と形から分かる放射線の影響 ～染色体の変化から分かったこと～」と題して報告した。

開催地は、六ヶ所村、青森市、八戸市で、参加者数はそれぞれ100名、77名、61名であった。なお、弘前市については、コロナウィルス感染症流行により中止となった。

それぞれ、六ヶ所村では齋藤幸男氏（元石巻西高校長、311いのちを守る教育研修機構協力研究員 防災士）、青森市では中川恵一氏（東京大学医学部 准教授）、八戸市では、今井礼子氏（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構QST病院 医師）の基調講演を実施した。また、六ヶ所村、八戸市で開催した成果報告会では、先記2題の成果報告に加え、公益財団法人日本海洋科学振興財団から「六ヶ所村沖で物質はどのように拡散するか」の報告を行った。

#### 1.2 出前説明会

出前説明会は、団体等からの働きかけにより連携して実施する「依頼・連携型」、及び大学祭等のイベントに出展して実施する「イベント出展型」に分けて、実施した。なお、成果報告会の地理的補完として六ヶ所村及び主要3市を除く地域において参加者を募集して公民館等の小施設で実施する「募集型」に関して

は、黒石市、五戸町で開催した。それぞれ黒石市、五戸町の後援を頂き、放射線に関する基礎的な内容や小グループに分かれて実習の形式で実施した。参加者数はそれぞれ12名、10名であった。

依頼・連携型の出前説明会の実施回数は18回、参加者数は計810名であった。実施先は、北里大学、藤崎町自主防災隊、七戸高校、六ヶ所村読書愛好会等であった。

イベント型の出前説明会は、青森大学、青森県立保健大学において実施した。また、次世代を担うより低年齢層への説明の機会を増やすため、六ヶ所村発明クラブにおいても説明会を実施した。霧箱やスパークチェンバーを用いて放射線に関する基礎知識を解説するとともに、パネルを用いて調査研究成果について説明を行った。実施回数は3回で参加者数は計252名であった。

合計で出前説明会の開催数は23回、参加者総数は1,084名であった。

#### 1.3 ホームページの制作・運営管理

排出放射性物質影響調査の調査内容や成果、情報発信活動で実施している情報を広く一般に提供するため、ホームページ（<http://www.aomori-hb.jp>）を通じた情報発信を行った。ホームページへのアクセス数は約19万5千ページビューであり、大幅な増加を示した福島原発事故直後に比べると落ち着いてきているが、事故前との比較では依然として多く、福島原発事故を契機とした放射線や放射能に対する関心は未だに高いと考えられる。

今年度は、研究の進捗に応じた研究紹介に関するページの更新、用語解説ページの修正、情報発信活動で実施した成果報告会や説明活動等に関する情報や発行物等の掲載など、ホームページ内容の更新作業を行った。また、新たに作成したリーフレットや更新した放射線の基礎知識パンフレット等を掲載した他、青森県内外を問わず放射線に関する質問や資

料請求の問い合わせ等に対応した。

#### 1.4 印刷物の作成

これまでに行った影響調査の成果を分かり易く簡潔にまとめたリーフレット2種類を作成した。今年度は、低線量率放射線に対する分子細胞応答影響実験調査で行った低線量率放射線が染色体に与える影響についてその成果を解説した「放射線の被ばくが色や形の変化でわかる！？～放射線で起こる染色体異常の話～」、放射性物質の主要な測定装置について解説した「環境中の放射性物質の種類と量を測ることができます。ーゲルマニウム半導体分析装置ー」を作成し、成果報告会、出前説明会等で配布した。

また、成果報告会と出前説明会の広告用に新聞折り込みなどで配布するチラシの裏面を利用し、影響調査で得られた成果の一つである被ばく線量評価法及び $\alpha$ 放射性核種に関する調査に関する調査結果について簡潔に記載し、青森県内で配布した。

## 2. その他の活動

六ヶ所村内の小学生等青少年を対象に、実験・体験を通して自然科学に興味を持つきっかけを作る活動を行った。

### ①冬期理科教室（令和3年2月）

テーマ：「レプリカハンド（石こう手型）を作ろう！！」

参加者：村内全小学校から5、6年生 計126名（引率含む）